

事業所名		児童発達支援 Play				支援プログラム		作成日	令和7	年	2	月	10	日	
法人（事業所）理念		・すべての子ども、人が楽しさを感じながら育ち、育てるための支援をいたします。 ・すべての子ども、人がその人らしく生き、自分をいきいきと表現する人生を支えます。 ・あふれる笑顔と明るい未来のために楽しさと喜びを感じられる「家」のような存在であり続けます。													
支援方針		「Play」は、子どもたちが楽しみながら成長し、自分らしさを表現できる場を提供します。 「やさしく」「おだやか」「ていねい」な支援を大切に、個々の特性に合わせた療育を実施します。													
営業時間			9	時		0	分から		18	時		0	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康確認の中でバイタルチェックや健康状態の観察を行い健康で安全に生活を支援する。本児との関わりの中で健康、情緒面の様子見。送迎時に保護者や園に健康、情緒面の確認。 ・定期的に通所する事で生活リズムの形成へ繋げる。本児にとって安心できる場所作り ・日常生活に必要な生活スキルの向上。身辺自立の練習。													
	運動・感覚	・活動や遊びの中で姿勢保持など日常生活に必要な運動機能、動作の向上。 ・個々のニーズに合わせ、苦手への環境や感覚機能を活用できる環境設定。 ・感覚の特性を把握。感覚過敏や鈍感の偏りに対する環境調整。													
	認知・行動	・理解力や判断力を把握し、場面に応じた対応力や適応力の向上。その中で認知の偏りやこだわり等配慮。 ・感覚(視覚、聴覚、触覚等)を活用し認知機能の発達を促し、理解や判断力の取得。													
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーション力の向上やコミュニケーション手段の活用支援。意思伝達や意思伝達理解への支援。 ・絵カードやジェスチャーを用いて、言葉や単語の組み立て方や語彙力の幅が広がるよう支援。 ・活動や遊びの中で学び本児に合わせ無理のない範囲で支援。													
	人間関係 社会性	・人との関わりを通して社会性や人間関係の形成。仲間作りや小集団参加。 ・集団に参加するための手順やルール理解取得。遊びや集団活動へ参加できるよう練習。(個別→小集団→集団) ・得意、不得意を把握し遊びや活動の中で色々な事へ挑戦していく。													
家族支援		・困り事や相談への聞き取り・助言・サポート ・保護者参加のイベント ・個別面談（年1回～2回）							移行支援		・保育園、幼稚園等、関係機関との連携 ・就学や進路を視野に入れたサポート				
地域支援・地域連携		・地域の児童館へ行き子ども達、職員の方々との関りを通じて交流を図る。							職員の質の向上		・職員研修の実施 ・支援会議を通して支援方法や支援の統一化を図る ・研修への参加				
主な行事等		・イベント行事の実施（遠足、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分等） ・戸外活動（地域のイベントや公園、商業施設等）													